

2 月に入りぐっと気温が下がり、本格的に冬の寒さを感じる季節となりました。乾燥も相まって、様々な感染症や少し早めの花粉の飛散も広がっています。園生活では冬の外遊びも積極的に取り入れ、病気に負けない体力づくりを心掛けていきたいと思います。

インフルエンザと嘔吐・下痢の流行が始まりました△

近隣の小学校ではインフルエンザの流行による学級閉鎖が相次いでおり、園では嘔吐・下痢のお子様が増えてきています。予防と対処に関する正しい知識を身に付け、お子様の感染と家族内感染を最小限に抑えられるようにしていきましょう。

《インフルエンザについて》

他の感染症と同様に換気・手洗い・うがい、といった基本的な予防法が効果的です。十分な睡眠、栄養をとるなど規則正しい生活も心がけましょう。

-登園の目安-

発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで。
(左図参照)

※治癒後の登園時に「意見書」の提出が必要です。

例	発症日		発症後 5 日間 (登園停止期間)					発症後 5 日を経過	
	0 日目	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目
発症後 1 日目に解熱した場合	発熱	解熱	1 日目	2 日目	3 日目	登園 OK			
発症後 2 日目に解熱した場合	発熱	発熱	解熱	1 日目	2 日目	3 日目	登園 OK		
発症後 3 日目に解熱した場合	発熱	発熱	発熱	解熱	1 日目	2 日目	3 日目	登園 OK	

感染症発生状況 (11 月～1 月)

- ・インフルエンザ
- ・ウイルス性胃腸炎
- ・マイコプラズマ肺炎
- ・突発性発疹
- ・ヒトメタニューモウィルス

■治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。「ヒトメタニューモウィルス」は、記載がありませんが、「登園届」が必要になります。登園の目安などは「RS ウィルス」の欄を参照してください

寒くなっても、動きやすい洋服を！《再掲》

厚手の衣服は熱がこもってしまうだけでなく、汗をかいて体が冷え風邪をひいてしまうこともあります。下記の衣服は避けるようにし、薄手の衣服や、上着についてはフードのないウィンドブレーカーのようなものでお願いいたします。

×裏起毛

×フリース素材

×中綿やダウンの上着



冬の肌荒れ対策

空気が乾燥する冬は、お肌も乾燥する季節です。特に子どもの皮膚の薄さは大人の 1/2 しかない為、バリア機能が弱く荒れやすいのです。洗いすぎないことと保湿を心がけ、デリケートな肌を守りましょう。また、肌を傷つけないように爪を短く切り、角がないよう整えましょう。



洗浄力のやさしいもので洗う

爪を短く、角が無いよう整える



冬の寒風に地肌をさらさない

外あそびや手洗いのあと、保湿クリームを塗る



《嘔吐・下痢について》

感染性胃腸炎の場合は、【持ち込まない・つけない・広げない】ことが大切です。マスクの着用(外すときは紐の部分を持つ)、外出後や食事前の手洗い・うがい(ブクブクうがい→ガラガラうがい)を心掛けましょう。

-嘔吐物の処理方法について-

保育園で嘔吐物や下痢、血液等が付着した衣類や布団類は、職員や他のお子さまへの感染予防のため洗わずにそのままビニール袋に入れてお持ち帰りいただくことになっております。ご了承ください。

